

平成17年度 町政執行方針



池部町長は、平成17年度の町政を推進するにあたり、3月10日から開かれた第1回町議会定例会で町政執行方針を説明し、町政執行に関する所信と基本姿勢、並びに平成17年度各会計予算の大綱について述べました。その中で町長は、「町民参加のまちづくり」と「行動する行政」を基本姿勢として、第4次総合計画の実現に向けた町政推進の決意を述べ、住民サービスの取捨選択により徹底した行財政改革の推進について、町民皆様のご理解とご協力を呼び掛けました。以下、町政執行方針の内容をお知らせします。

はじめに

平 成17年第1回南富良野町議会定例会にご提案いたしました、一般会計並びに6特別会計予算案のご審議をお願いするにあたり、提案の趣旨および概要のご理解を賜り、ご協力をお願いいたしたく、予算編成の基本的な考え方とその大綱についてご説明を申し上げます。

私は、昨年4月の任期満了に伴う南富良野町長選挙におきまして、町民皆様の温かいご支援をいただき、無投票当選の栄に浴し、引き続き2期目の町政に当たらせていただくことになりました。

今回の改選にあたりましては、町民皆様からまちづくりについて数多くのご意見をいただきましたので、お寄せくださいましたご意見を謙虚に受け止めさせていただきます。町民皆様の負託にお応えするため、これからのまちづくりに渾身の努力をしてまいる所存であります。

今、地方自治体は地方交付税の削減や行財政改革、市町

村合併問題など、かつてない厳しい環境にあります。私は常に「町民参加のまちづくり」と「行動する行政」を基本姿勢として、町政の執行にあたっていらっしゃる所存であります。

時 代が大きく変化する中で、「まちづくりの最上位計画」として策定いたしました第4次総合計画の「まほらの南富良野」瑞々しい自然、誇れる大地、人のびのびみなみふらのの実現を目指して、町民と行政が連携し協働するまちづくりの推進を図ってまいります。

また、私は町長就任以来、町民皆様との対話を基本として21世紀に対応する「南富良野町」建設のため邁進しておりますが、町議会並びに町民すべての英知を今こそ一つに結集し、町政推進に最大限の努力を傾注する所存でありますので、より一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。第であります。

第4次総合計画「まほらの南富良野」の実現

新行財政改革大綱の策定 第三者による審議機関の設置

さて、我が国の経済は大手企業、製造業などの輸出や設備投資に着実な回復が見られると言われておりますが、デフレ不況の長期化や雇用環境の悪化など依然として景気の低迷が続く、経済活性化に向けての取り組みや少子高齢化に対応する福祉対策、総合的な環境施策が強く求められております。

国際化や情報化、少子高齢化が急速に進展していく中で、国が進める「三位一体改革」は市町村財政を直撃し、極めて厳しい行財政運営を強いられています。まさに転換の時期であり、住民サービスの取捨選択など様々な改革が必至の状況となっております。

市町村合併

占冠村との合併協議につきましては、小規模自治体が合併によって行財政の効率化を進め、少しでも行政能力や財政基盤の強化を図るために「合併協議会」を設置して進めてきたところですが、審議

町政の基本姿勢

の中で「新まちの名称」や「新まちの事務所の位置」について占冠村の合意が見られず、昨年12月22日開催の合併協議会において解散することが承認され、約1年間にわたる協議を終了いたしました。

この間、合併に関する情報提供や経過報告については、合併協議会だよりの配付や移動町長室の開催などで説明をするともに、移動町長室では、多くの町民皆様から様々なご意見やご質問をいただき、ともに本町のあるべき姿を探ってまいりました。

合併協議会は、すべて公開で開催されましたので緊張感あふれる内容でありましたが、地域的な一体感の醸成や足しと割れない課題など、町村合併の難しさを思い知らされたところでもあります。

しかしながら、合併協議の過程において、協議会の各委員はもとより、職員においても突っ込んだ財政論議や効率的な行政運営、事務事業の一元化など貴重な経験をいたし